

教科 科目名	家庭科	学年・科目群	2学年・必修	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	家庭基礎	単位数(年間授業時数)	2単位(70時間)	

学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
三つの柱	(1)	知識及び技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	(2)	思考力・判断力・表現力等	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	(3)	学びに向かう力、人間性等	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。
教科書	【教科書】Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう		
ポイント	(1)課題はクラスルームで配布します。毎回の授業で提出してもらいますので、指示に従い提出してください。 (2)欠席者も課題は提出してもらいます(評価に入れます)。わからない所は先生・友達に聞き、必ず提出してください。 (3)課題はチェックし、評価入力後、返却をいたします。再評価を受けた生徒は再提出をしてください。 (4)実習では裁縫道具(持っている人のみ)、エプロン、三角巾(全員必須)を使用します。準備をお願いします。 (5)評価内容・方法に関しては、授業の中でヒント・条件を示します。その内容を踏まえて、課題に取り組んでください。 (6)毎回の評価では基本的に1～5点で評価をします。 A=85%以上 B=45% 84% C= 44%		
学習評価	評価の観点		
	a	知識・技能	学習を通して生活する上で必要な知識・技能を身に付けている。また、自らの生活との関連性について理解し、学習内容を自らの生活に反映させ、もたすことができる。
	b	思考・判断・表現	充実した生活を送る方法について具体的に考え、自己の生活を見直し、より豊かになるよう適切に判断している。また、自分の考えを整理し、レポートや課題、実習で表現している。
	c	主体的に取り組む態度	よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、生活を創造し、実践しようとしている。ホームプロジェクトに主体的に取り組む、自己の生活をより豊かにしようとしている。

学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数
前期	4	第1章 生活のマネジメント	1 生涯を発達し続ける 2 意思決定を重ねてつくる人生 *デモンストラグラフの作成 3 どんな生き方をする?	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。 ○他者の考えに触れ、自己の充実した生活に向けてのヒントにする。	未来を見通す力・他者を思いやる心	知 課題・発表・GW 思 課題・発表・GW 主 課題・発表・GW	4
	5	第2章 青年期の課題と自立	1 子どもから大人へ 2 自立の達成を目指す	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。	未来を見通す力・探究する力	知 課題・発表・GW 思 課題・発表・GW 主 課題・発表・GW	2
	5～8	第9章 食生活のマネジメント	1 体と心を満たす食事 2 イエローカードかも? 3～8 栄養素について 9 豊かな食生活に 10 食品のライフサイクル 11 調理の基礎 12 食生活の文化と知恵 13 調理実習(和洋中、郷土料理) *韓国交流と郷土料理をマッチアップ 一教科横断(2年論理国語) *洋食は英語と連携し、オールイングリッシュで実習を行う。	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。 ○状況・条件を踏まえ、正しい知識を生かし、課題に取り組む。 ○実習では協働して取り組む。 ○日本の食を他国の方に紹介し、文化について考える。	協働する力・探究する力	知 課題・発表・GW・実習 思 課題・発表・GW・実習 主 課題・発表・GW・実習	20
	8～9	第10章 衣生活のマネジメント	1 人と被服のかかわり 2 健康と安全を守る被服 3 被服実習(コースター作成)	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。 ○実習では、テーマ・目標を持って取り組む。	協働する力・探究する力	知 課題・発表・実習 思 課題・発表・実習 主 課題・発表・実習	8
	9	第6章 共生社会をつくる	1 生活課題の乗り越え方 2 とともに生き、社会をつくる	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。	未来を見通す力・創造する力	知 課題 思 課題 主 課題	2
	10	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	1 家族って何だろう 2 わかってくれば当然? 3 法律から見る家族・家庭 4 ダイバーシティの実現を目指す	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。 ○多様な考えについて触れ、自分の形を考える。	未来を見通す力・他者を思いやる心	知 課題・発表・GW 思 課題・発表・GW 主 課題・発表・GW	4
後期	11	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	1 子どもの世界を知る 2 命の誕生 3 子どものいる暮らし 4 子どもの仕事は「遊び」 5 親になるということ 6 社会で子育て *3年進級保育のプレゼン聞き、グループワーク	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。 ○多様な考えについて触れ、自分の形を考える。	他者を思いやる心・探究する力	知 課題・発表・GW 思 課題・発表・GW 主 課題・発表・GW	6
	12	第5章 高齢期の生活のマネジメント	1 人生100年時代の高齢期 2 年をとると変わる 3 これからの高齢社会	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。 ○多様な考えについて触れ、自分の形を考える。	未来を見通す力・他者を思いやる心	知 課題・GW 思 課題・GW 主 課題・GW	3
	1～2	第8章 経済生活のマネジメント	1 生活を営むためのお金 2 経済のしくみを知ろう 3 お金と上手につきあう 4 18歳で変わる消費生活 5 豊かなマインドと社会 6 お金を借りるということ 7 消費者トラブル 8 ライフプラン計画 ホームプロジェクト～生涯を見通す～	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。 ○多様な考えについて触れ、自分の形を考える。 ○家庭科を中心にこれまで学んだことをすべて生かして考える。	未来を見通す力・探究する力	知 課題・発表・GW・実習 思 課題・発表・GW・実習 主 課題・発表・GW・実習	15
	2	第11章 住生活のマネジメント	1 住まいを知ろう 2 心地よく暮らすために 3 住環境を見つめてみよう	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。	探究する力・創造する力	知 課題・発表・GW・実習 思 課題・発表・GW・実習 主 課題・発表・GW・実習	3
	3	第7章 持続可能な社会をつくる	1 地域が危ない 2 ライフスタイル再考 3 めざせ! 持続可能な社会	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。	未来を見通す力・探究する力	知 課題・発表 思 課題・発表 主 課題・発表	2
	3	生活をデザインする	1 生活をデザインする	○自己実現・実生活を踏まえて、課題に取り組む。	未来を見通す力・探究する力	知 課題 思 課題 主 課題	1
							70
教科横断	単元	食生活	洋食をオールイングリッシュで調理実習を行う。 郷土料理を韓国交流の生徒と調理し、日本の文化を韓国語(論理国語)で伝える。				
	関連	英語、国語					